

(様式1)

自己評価票

作成日 平成26年 9月16日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873900542		
法人名	医療法人 正信会		
事業所名	グループホームさくら	ユニット名	南棟
所在地	〒 315-0122 茨城県石岡市東成井2219-8		
自己評価作成日	平成26年 9月15日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

緑に囲まれた自然をたいせつに家庭のぬくもりを忘れずに、笑いのあるホームを維持する。 交通機関も良く駅から近いのが便利。春には鳥のさえずりが合唱しているように聞こえる。 食事も職員が作り利用者の状態に合った常食、お粥、刻み、荒刻みに分けて食べて頂いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「さくらの理念」は各棟見える所に掲げており、月1回のミーティングや各棟朝の仕事始めに職員は唱和し、共有すると共に実践に取り組んでいる。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年2回の消防訓練を実施、近所に声をかけ理解、参加して頂いている。近隣の方との挨拶を大切にしている。納涼祭前日にはポスターを貼って呼びかけ、参加して頂いている
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	職員が講習会等に積極的に参加し認知症を理解した上で、地域の方々に車椅子の使い方移乗への仕方、紙パンツ、尿取りパットの着用の仕方などの講習会を開く事などの実施も検討している。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は年6回開催し、利用者の状況報告や意見交換をしている。また利用者の方と一緒にさくらの食事を楽しんで頂き、ふれ合う事でさくらの状況を把握して頂いている。また地域の独居老人を把握し、何かあった時は受け入れ協力できるような体制を整えている。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者（介護保険課、社会福祉課、包括支援センター）の方とは、電話連絡もしくは来訪にて協力関係を築いている。市役所や包括支援センター、居宅支援事業所には入所のお願いを兼ねて、パンフレットを持参し訪問している。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	すべての職員が「身体拘束排除に向けたマニュアル」を基に研修しており、身体拘束をしないケアを心掛けている。しかし「緊急やむを得ない」身体拘束を行う時は、家族にその旨を説明し同意書を頂くようにしている。現時点では身体拘束をしている利用者はいない。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は虐待防止法について、講習を受けておりマニュアルも設置して参考にしてしている。職員は常に利用者の人権及び尊厳を守る為に介護に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員はミーティングの際に権利擁護及び成年後見制度について研修を行っている。家族に対しては入所の際に契約書の説明時に（契約書第11条、第12条）説明させて頂いている。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には管理者が家族に契約書、重要事項説明書をわかりやすく説明し、家族の思いや不安を聞き入れ契約するようにしている。また契約後でも家族に希望や疑問があったらすぐに相談が出来るように説明している。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が面会に来た際には、利用者の今の状態を報告し意見や要望を聞き入れるようにしている。また直接話が出来ない場合は、無記名で思いが伝えられるように玄関前に投書箱を設置している。また利用者が不満や要望があり職員には話せない場合は外部の方（市役所職員民生委員）に聞いて頂けるような機会を設けている。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員全員でのミーティングを月1回行い、職員間で意見交換が出来る機会を設けている。また管理者は個人的に面談し意見や悩みも相談に乗るようにしている。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場環境、条件など職員各自の意見が反映されており、やりがいを持てる職場環境を与えている事で向上心を持って働く事が出来る。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は研修に参加出来る環境にあり、その都度一人ひとりに合った研修を受けている。必要とあればミーティング時にマニュアルを基に全員で研修、講習を行っている。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	石岡市地域密着型介護サービス協議会を通じて講習や研修を行う機会を設け、交流を深めている。また関連のグループホームには研修を兼ねて実習に行きサービスの質の向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所当所本人及び家族との話し合いにおいて要望等を出来る限り解決できるように努めている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の方とは常に信頼関係が持てるように、話し合いの場を持ち安心出来るようにサポートしてより良い関係に努めている。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者と家族が何を必要としているのかを話し合いの中で見極めるように努めている。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	初期対応の見極めを重点に置き、日々一緒に生活する中で、お互いの気持ちを理解し、信頼関係を築いている。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者が何を考え希望しているのかなどを一緒に考え行動を共にすることで絆を深めている。また家族との絆も断ち消えないように支援している。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自由に面会に来て頂き居室やフロアで雑談をして頂いている。また希望があれば来訪に来て頂いた友人と外出する事も支援している
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれ生活環境の違う方同士の生活なので性格の違いやトラブルにならないように、テーブルの席順に配慮したりしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了した後も時折電話を頂いたりしている。また退所し、病院に入院中は頻りに様子を伺い面会に行き家族と連絡を取っている。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	全職員が利用者一人ひとりの思いや意向の把握に努めると共に常に関心を持つ様になっている。本人の思いが伝えられない利用者に関しては表情や態度で読み取るように努めている
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や個人の尊厳を支えられるよう過去の経験を生かし支援している。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の介護内容等を利用者一人ひとりの個人のファイルに記録し現状の把握に努めている
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用開始にあたり利用者、家族とよく話し合い本人、家族の意向を聞き入れ、その後管理者、ケアマネージャー、職員と一緒に問題点や課題に沿った介護計画を作成している。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の心身の状態や介護内容等を利用者一人ひとりのケース記録や一日の記録を記載する介護日誌を利用し介護計画の見直しに活かしている。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	特に利用者の健康状態を大事にし、母体の医療機関への連絡を密にしている。今の所は他のサービスを利用している利用者はいないが、今後家族、本人が希望されれば支援していきたい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの来訪、年2回の消防訓練の際消防職員の指導、近隣の保育園児のあいさつなど安全で豊かな暮らしを楽しめるように支援している。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時にかかりつけ医については、家族、本人と話し合い決定している。その際ほとんどの利用者が母体である病院を希望され、24時間体制で適切な医療を受けている。ただし他医療機関（皮膚科・耳鼻科など）を受診する際はご家族の協力をお願いしている。しかし家族がいない利用者や家族が遠方な場合は職員が対応している。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の情報や気づきは、管理者が母体である看護師と密に連絡を取っており、いつでもすぐに指示が仰げるような体制を整えている。またケアマネージャーが看護師である為すべての利用者の状態を把握しているので、状態変化にすぐに気づき適切な指示を受け素早く受診する事が出来る体制となっている。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際の対応は、入院中は管理者が担当医や看護師と密に連絡を取り、状態を把握している。また出来る限りの早期退院を心掛け努めている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	基本的には母体が病院の為看取りは行っていない。ただご家族の要望で、出来るだけさらでの生活を希望された場合は、その旨担当医に報告し連携を図りながらケアを行うように支援している。その際は家族と話し合い同意書にサインを頂いている。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急、急変時対応マニュアルを基に応急手当や初期対応の訓練はミーティングなどで実習している。また消防署で行っている普通救命講習に職員は随時参加し終了書を取得している。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練を実施しており、地域住民にも声をかけ、参加して頂いている。10月2日には推進会議を兼ねて消防署立ち会いのもと訓練を行う予定である。また職員は災害対応マニュアルと役割分担表を基に消防訓練以外でも訓練を実地している。訓練後は必ず職員全員で反省会を行う。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は心無い言葉使いやプライドを傷つけないように気を付けて対応する事を心掛けている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員と利用者間で何でも話し合える状況を築ける様に接し水分補給やおやつの時間に利用者とのコミュニケーションを取る事で思いや願望を聞くように努めている。また自己決定は本人に任せている。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な流れはあるが、それ以外は強制することなく本人の好きな事をして頂いている。居室でラジオを聞いたり、読書をしたり、好きな時代劇を観賞したりして過ごされている。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	なかなか自分の意思表示が出来ない利用者が多くなって来ている為職員が利用者の表情や似合いそうな洋服を選んであげる事が多くなっている。自分で選択出来る方に関しては一緒に選んであげている。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者一人ひとりの食事摂取の状態を考えその人に合った形状で召し上がって頂いている。1ヶ月に1回は利用者に食べたい物を聞いてメニュー変更しお楽しみ会を行ったり近隣の中華料理店に外食したり、外出が困難な方にはテイクアウトして好きな物を食べて頂ける様に配慮している。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の献立は栄養管理士のもとにカロリー計算された物を用意している。水分、食事摂取量は毎日個別に記録表に記入し、体重の増減健康状態を知る目安にしている。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後うがいをして口の中に食べかすが残らないように対応している。夕食後は歯磨きを行い入れ歯は洗浄剤に入れて翌朝まで保管している。緑茶でのうがいも欠かさず行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意、便意がある方は声かけ、誘導で行って頂いているが、尿意、便意がない方は排泄パターンを把握し介助にて行っている。紙おむつは使用せずトイレでの排泄を心掛けている
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や体操、園内散歩など運動をしたり、食べ物での工夫（毎日プルーンを2個づつ食べたり、牛乳にオリゴ糖を混ぜて飲んだり）して頂いている。生活習慣で便秘がちな方は下剤を使用することもある。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週2回の入浴日を各棟で行っているので、入浴日に都合が悪く入浴出来なくても、利用者は他の棟で入浴が出来るように支援している
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室での休息は自由にして頂いている。居室での休息時間は好きな縫物を行ったり、音楽鑑賞や読書などをされて過ごしている。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬リストは各個人のケース記録にファイルしてあり、薬の用途、用量、副作用は理解している。服薬は全員職員が必ず口入れで飲ませ、飲んだかの確認を行っている。また服薬記録も残している。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	1ヶ月に1回西棟に集まりカラオケ大会を楽しむにしている。また読書の好きな方は自分の読みたい本を廊下の本箱から持って来て居室で読んだり、お掃除の好きな方は職員と一緒に雑巾がけをしたり、利用者に合わせて楽しい日々を過ごせる様に支援している。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	全体が車椅子使用の方や認知症状が進行している方が多い為なかなか外出が出来ないが友人や家族が面会に来た際は一緒に外出し買い物をしてきたり、玄関前で日光浴をしたり外での楽しみを味わって頂ける様に支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人が所持している利用者は自分で自動販売機でジュースを買ったり、欲しい物があれば職員に買い物を頼んだりしている。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>自由に廊下に設置してある公衆電話を利用して、家族や友人に電話をしている。またお孫さんにお手紙を書きたいとお話があった時はこちらでポストカードを用意し一緒に書く内容を考え本人が書く様支援している。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>フローアからは中庭や周りの畑の木々が見渡せる。棟内中央廊下には自由に本が見られるように本棚がある。長い廊下にはソファが置かれてあり、利用者の写真が貼られそこに座り休息する癒しの場となっている。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>全棟個室なので、自由に居室とフローアを行ったり来たり出来る。廊下も歩行訓練しながら疲れた時は設置されているソファに座り休息する事が出来る。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>全個室なので自分の好みの物や今まで使っていた物を持ち込み本人が少しでも安心出来る空間作りを大切にしている。（例：居室に仏壇、位牌を置いている方もいる）</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者の目線に合わせて表札を出したり、入口に目印を付けたりしている。また歩行困難だがベットから降りてしまう利用者にはベットの高さを低くしたり、下にマットレスをひいたり安全に生活出来るように工夫している</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input checked="" type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="checkbox"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, 毎日ある <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまにある <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input checked="" type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input checked="" type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="checkbox"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="checkbox"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="checkbox"/> 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない